

中部 (4)山田小学校・(5)山田東小学校・(7)山田中学校

適正化方策案の検証結果比較表 (○適合、△課題あり、×不適合)

検証項目、視点	検証内容	参考資料 10の項番	方策 中部 S	
			山田中 山田小	交北小 山田東小
1. 学校規模 (1) 適正な学校規模の確保	① 統合校の学校規模	[1-(1)]		
	② 適正規模を外れる場合、適正規模となる見込み及び時期 (大規模校の常態化の有無)			
	③ 住宅開発等の動向	[1-(2)]		
2. 施設規模 (1) 受入れ可能な教室の確保 (2) 良好な学習環境の確保	① 保有教室数	[2-(2)(4)]		
	② 受入れ教室が不足する場合の増築等の可能性	[2-(4)]		
	③ 学校施設整備計画等との整合性	[2-(3)]		
	④ 小・中学校設置基準 (H14文部科学省令) に定める校舎、運動場面積	[2-(1)(2)]		
	⑤ 学校敷地の形状・面積、校舎・体育館等の建築年数及び状態			
3. 通学区域 (1) 適正な通学距離の確保 (2) 通学路の安全性の確保 (3) 子どもの生活圏の確保	① 最長通学距離	[3-(1)]		
	② 通学時の児童生徒の動線 (不自然な通学様態)	[3-(2)]		
	③ 自転車通学、バス通学等の検討の必要性和実現可能性			
	④ 地形地物 (鉄道・幹線道路・河川等)			
	⑤ 防災・防犯上の課題			
	⑥ 通学区域の広さ、形状			
4. 小中連携 (1) 小・中学校の接続関係の確保	① 中学校区との関係 (「一小一中」の接続関係)	[4]		
	② 統合後の中学校の学校規模			
	③ 小中一貫教育への対応			
5. 地域連携 (1) 学校と地域との連携の確保	① 自治会等の区域	[5-(1)]		
	② 学校の沿革、地域の歴史的な経緯	[5-(2)]		
			△	
			×	
			○	